

昭和 5 8 年 9 月招集

第 3 回 館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

◎第1号（9月13日）

開 会	9
議長の報告	9
会議録署名議員の指名	10
会期の決定	10
会議日程の決定	10
議案第36号～議案第50号、認定第1号～認定第8号 （提案理由の説明）	11

延 会	18
本日の会議に付した事件	19

◎第2号（9月19日）

開 議	23
行政一般通告質問	24
石井 武敏君の質問、当局の応答	24
安西 益男君の質問、当局の応答	39
田沢 勝信君の質問、当局の応答	53
山中金治郎君の質問、当局の応答	65
川名 正二君の質問、当局の応答	73
神田 守隆君の質問、当局の応答	82
流山源次郎君の質問、当局の応答	95
散 会	100
本日の会議に付した事件	101

◎第3号（9月20日）

開 議	106
議案第36号～議案第48号	106
石井 武敏君の質疑、当局の応答	107
神田 守隆君の質疑、当局の応答	116
委員会付託	123
議案第49号、議案第50号	123
石井 武敏君の質疑、当局の応答	124

神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 3 4
委員会付託	1 3 9
延 会	1 4 0
本日の会議に付した事件	1 4 0
○第4号(9月21日)	
開 議	1 4 4
認定第1号～認定第8号	1 4 4
石井 武敏君の質疑、当局の応答	1 4 4
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 6 3
山中金治郎君の質疑、当局の応答	1 7 1
決算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任	1 7 3
延 会	1 7 4
本日の会議に付した事件	1 7 5
○第5号(9月30日)	
開 議	1 8 1
議案第49号	1 8 1
総務委員会委員長報告	1 8 1
神田 守隆君の討論	1 8 4
採決	1 8 4
議案第36号～議案第46号、議案第50号	1 8 5
文教民生委員会委員長報告	1 8 5
田沢 勝信君の討論	1 8 8
神田 守隆君の討論	1 9 0
採決	1 9 1
議案第47号、議案第48号	1 9 3
建設経済委員会委員長報告	1 9 3
採決	1 9 5
認定第1号～認定第8号	1 9 5
決算審査特別委員会委員長報告	1 9 5
神田 守隆君の討論	2 0 0
採決	2 0 2

議案第 5 1 号	2 0 3
説明	2 0 3
委員会付託の省略	2 0 3
採決	2 0 4
議案第 5 2 号	2 0 4
説明	2 0 4
神田 守隆君の質疑、当局の応答	2 0 4
委員会付託の省略	2 0 6
採決	2 0 6
閉 会	2 0 6
本日の会議に付した事件	2 0 7

第 3 回 館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和58年9月13日(火曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆
3 番 山中金治郎
5 番 川名 正二
7 番 榎本 春光
9 番 福原 勤
11 番 飯田 義男
13 番 石井 昌治
15 番 渡辺 昭夫
17 番 近藤 好雄
20 番 石井 武敏
22 番 林 豊
24 番 流山源次郎
26 番 石井 正
28 番 安澤 徳順

2 番 田沢 勝信
4 番 日下 君敏
6 番 生稲 陸
8 番 小宮 利夫
10 番 横溝 功
12 番 石井 謙
14 番 伊藤幸太郎
16 番 松下 正己
19 番 黒川 平治
21 番 吉田勇治郎
23 番 伊賀 多朗
25 番 五十嵐 昇
27 番 安西 益男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 太田 博雄
総務部長 鶴岡 卓樹
経済部長 山田 俊康
教育委員会委員長 関 和雄
選挙管理委員会委員長 宮澤 茂
監査委員 鈴木 重司
農業委員会会長 斉藤 明

助役 小倉 澄男
市長公室長 斉藤 武男
民生部長 鈴木 力
水道課長 石井 敏夫
教育委員会教育長 安田 豊作
選挙管理委員会事務局書記長 越路 良夫
監査事務局長 飯田 忠男
農業委員会会長 庄司 徹

1 出席事務局職員

事務局長 高尾 豊
書記 兵藤 恭一
書記 石井 一夫

事務局長補佐 熊谷 吉雄
書記 鈴木 哲
書記 嶋田 範夫

1 議事日程（第1号）

昭和58年9月13日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第36号 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第37号 館山市コミュニティセンター設置条例の制定について

議案第38号 館山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の制定について

議案第39号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の制定について

議案第40号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

議案第41号 館山市婦人会館設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第42号 館山市図書館条例の一部を改正する条例の制定について

議案第43号 館山市立博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第44号 館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第45号 館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

日程第4 } 議案第46号 館山市民センター条例の一部を改正する条例の制定について

議案第47号 館山市豊房育成牧場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第48号 公有水面埋立免許に関する答申について

- 議案第 49 号 昭和 58 年度館山市一般会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 50 号 昭和 58 年度館山市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）
- 認定第 1 号 昭和 57 年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 2 号 昭和 57 年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 3 号 昭和 57 年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 4 号 昭和 57 年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 5 号 昭和 57 年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 6 号 昭和 57 年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 7 号 昭和 57 年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
- 認定第 8 号 昭和 57 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前 10 時 01 分

○議長（石井 正君） 本日の出席議員数 27 名、これより昭和 58 年第 3 回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（石井 正君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 121 条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員より 5 月乃至 8 月実施の監査の結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（石井 正君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（石井 正君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

4番議員日下君敏君、24番議員流山源次郎君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（石井 正君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本9月13日から9月30日までの18日間ということであります。

お諮りいたします。会期を18日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって会期は9月13日から9月30日までの18日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（石井 正君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は本定例会の大体の日取り予定ですが、議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第4、議案第36号乃至議案第50号及び認定第1号乃至認定第8号を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明を求めます。

提案理由の説明

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに、第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしましたが、議員の皆様方には、御多忙のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例議案12件、一般議案1件、補正予算2件並びに認定8件でございます。

その主なものといたしましては、かねて御協力をいただきながら建設をいたしておりました館山市コミュニティ施設が当初の計画どおり10月下旬完成し、また、博物館本館工事も順調に進みまして、11月中旬過ぎにそれぞれ竣工をいたしますので、これらの条例制定を中心に御提案いたしますものでございます。

次に、手数料及び使用料の改定についてでございますが、御案内のとおり、地方財政を取り巻く現状は、年を追ってその厳しさを増し、今後、諸般の情勢からその度合いはより一層増すものと思われます。一方、行政に対する住民の期待、要望は多様化、複雑化するとともにますます増大化の傾向にあります。

市といたしましては、財源の効率的配分を重点課題として運営に努めているところでございますが、一般財源の厳しい現況から住民の行政需要に対応する諸施策の実施にも配慮しているところでございます。

このような現況から、今議会に提案し、御審議をお願いいたします手数料及び使用料の改定につきましては、本年4月1日に国におきまして、戸籍手数料令の改正が行われましたので、これに準じて今回手数料条例の一

部を改正しようとするものでございます。また、使用料につきましては、ここ数年間、改定を行わず現在に至っております。

手数料及び使用料は、公共サービスの受益者が特定される場合、これらのサービスに要する経費の財源につきまして、一般的な市税等に求めることなく、その受益性に着目し、あるいは、行政財産の目的外使用、又は公の施設の使用につきまして、受益者から負担を求めることにより、一般住民との負担の衡平を図ろうとするものでございますが、諸物価の変動等もございますので、今回見直しを行い、それぞれ改定しようとするものでございます。

以下、提案いたします案件の概要について御説明申し上げます。

まず、議案第36号館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、改正の主な理由といたしましては、昭和51年7月からすでに7年を経過し、この間、物価の状況、各種証明書の交付に要する経費等を検討した結果、国に準じて改正しようとするもので、内容といたしましては、100円を200円に、30円を50円に改めようとするものでございます。

なお、この条例は、昭和58年10月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第37号館山市コミュニティセンター設置条例の制定についてでございますが、より住みよい地域社会の形成を目指し、近年、市民のコミュニティ活動は積極的に行われているところでございますが、市民の健康及び勤労青少年の福祉増進並びに社会教育活動を総合的に推進するため、本年11月に開館を予定するコミュニティセンターの設置条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第38号館山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の制定についてでございますが、市内に在住又は通勤しております勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図るため、コミュニティセンター内に設置する館山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関しまして条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第39号館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の制定についてでございますが、市民の学習、休養、集会等の公共的利用

に供し、社会教育活動の推進を図るため、コミュニティセンター内に設置する学習等供用施設の設置及び管理に関しまして条例を制定しようとするものでございます。

なお、館山市勤労青少年ホーム及び学習等供用施設の両施設とも、その目的以外に使用する場合は、使用料を徴収するよう定めてございます。

次に、議案第40号館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、コミュニティセンター内に中央公民館を開設いたしますとともに、各地区の公民館を含めた公民館のより円滑な運営と事業活動の活性化を図ろうとするものでございます。また、使用料につきましてもコミュニティセンター内の他の施設の額と調整を図りながら本条例中に規定いたしますとともに、別に制定してあります館山市公民館使用料条例を廃止しようとするものでございます。

次に、議案第41号館山市婦人会館設置条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、婦人の修養、福利厚生及び集会等の諸活動のより促進を図るため、婦人会館に新たに別館として善導館を加えるほか、使用料について改定を行い、本条例中に規定いたしますとともに、これに伴い別に制定してあります館山市婦人会館使用条例を廃止しようとするものでございます。

次に、議案第42号館山市図書館条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、館山市図書館条例のうち、職員及び費用弁償等の条項について、関係法令等との整合を図るため条文の整備を行おうとするものでございます。

次に、議案第43号館山市立博物館設置条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年11月下旬開館を予定しております博物館本館と現在開館しております分館の共通観覧料として額の改定をお願いするものでございます。

次に、議案第44号館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第45号館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第46号館山市民センター条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、いずれも使用料の改定をお願いしようとするもので、こ

これらの施設はここ数年間使用料を据え置いたままで運営をしてまいりましたが、今回、電気料、燃料費等諸物価の上昇を勘案いたしまして施設により若干異なりますが、おおむね平均10%から50%引き上げようとするものでございます。

次に、議案第47号館山市豊房育成牧場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、牧場の設置目的を効果的に達成するためその管理を安房郡畜産農業協同組合に委託すること、飼料費等の高騰に対処するため牧場使用料の改定をお願いするものでございます。また、今後の管理運営を適正かつ効率的に行っていくために豊房育成牧場運営委員会の設置をしようとするものでございます。

次に、議案第48号公有水面埋立免許に関する答申についてでございますが、これは公有水面埋立法第3条第1項の規定により、千葉県知事から館山市相浜地先の公有水面の埋立免許について諮問がありましたので、同条第4項の規定により市議会の議決を求めるものでございます。

次に、議案第49号昭和58年度館山市一般会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ1億1994万4000円を追加し、総額103億7339万円としようとするものでございます。

歳出のうち、主なものといたしまして、総務費では、生活保護費、老人保護費など、昭和57年度に交付を受けた国庫負担金及び県補助金のうち、精算確定に伴う返還金として526万2000円、また、昭和57年度以前の税収入に係る還付金及び還付加算金で460万円。

民生費では、痴呆性老人及びねたきり老人の短期入所措置扶助費として109万3000円、高齢者体力づくり健康づくり事業補助金として40万6000円、このうち、痴呆性老人短期入所措置扶助費につきましては、痴呆性老人を持つ家族に対する救済措置として1カ月を限度として特別養護老人ホームへ入所させて介護するものであります。

衛生費では、57年度において最終処分場の環境影響評価及び基本設計を行いました、今年度は最終処分場整備事業として実施設計、用地買収及び用地買収に伴う立木補償を実施する経費として1049万4000円。

農林水産業費では、農業費におきまして豊房育成牧場管理委託料810

万円の追加、また管理委託することによりましての臨時職員等賃金110万8000円の減、飼料費及び消耗品費その他で629万8000円の減を計上いたしました。これらは、10月1日から予定する豊房育成牧場の管理を安房郡畜産農業協同組合に委託することによりまして、行政経営の合理化と酪農振興を推進しようとするものでございます。また、南館山地区自然休養村整備事業として施設の整備、充実を図ることにより、地区内施設の利活用を促進するため、遊歩道の舗装工事、農産物直売所の建設等の経費として3852万円。水産業費におきましては、漁港整備事業費として、下原漁港調査測量設計委託料470万円、水産振興事業として漁業資源の育成及び漁場生産力の増大を図るため内房地域栽培漁業推進協議会が実施するマダイの中間育成及び放流事業の負担金として50万8000円。異型魚礁設置事業補助金375万円、また、沿海で操業する小型漁船の操業及び航行の安全を図るため沿岸小型漁船操業安全対策事業補助金として40万円。

土木費では、都市計画費におきまして排水路の改良と同時に市道の整備を図るため地域排水路整備工事請負費及びこれに伴う水道管移設工事委託料等で3500万円、城山公園整備事業として、入口排水路改良工事及び彫刻の移植工事として433万1000円。

教育費では、教育総務費におきまして、学習効率の向上を図るためVHS電子編集機の購入費として65万円、小学校費におきまして、西岬小学校スクールバス運行廃止に伴い、臨時職員賃金、自動車修繕料等で379万6000円の減、遠距離通学児童通学費補助金63万9000円、このほか豊房小学校通学用道路拡幅に伴う用地購入費で579万9000円、中学校費におきまして、備品購入費で50万円、これは佐伯陳哉氏から寄附金がございましたので、御意志を尊重いたしまして第3中学校用の図書購入を行うものでございます。幼稚園費におきまして、現館山幼稚園地内にあります国有地の払い下げによる館山幼稚園用地購入費で121万8000円。社会教育費におきまして、文化財を保存整備、活用し市民の文化的向上を図るため、県指定文化財であります手力雄神社本殿修復事業補助金として175万円を計上いたしました。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源

といたしまして、分担金及び負担金、使用料及び手数料並びに国、県支出金の特定財源で6965万2000円、その他を繰越金、諸収入等一般財源をもって充当しようとするものでございます。

議案第50号昭和58年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）でございますが、昭和58年2月1日から老人保健法の施行により支払基金、国及び県並びに一般会計からの交付金及び負担金により事業を実施いたしました。本年度において昭和57年度分の医療費を精算することになりましたので、それぞれ返還しようとするものでございます。これにより、歳入では、804万2000円の繰越金を補正し、歳出では返還金として、医療費交付金返還金286万4000円、医療費国庫負担金返還金230万3000円、県及び一般会計返還金287万5000円、合計804万2000円を補正しようとするものでございます。

次に、認定第1号ないし第8号の諸案件は、いずれも昭和57年度館山市一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算の認定について地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものでございます。

昭和57年度におけるわが国の経済は、物価の安定等を背景に個人消費を中心にして、国内需要は緩やかな増加を続けましたが、世界経済の停滞に伴い、輸出の減少や企業の設備投資の差し控え等がみられ、景気の回復は緩慢なものにとどまりました。このような情勢の下でわが国経済を持続的、安定的成長路線に円滑に乗せていくため、政府は、公共事業の上期前倒しや総合経済対策を決定するなど、きめ細かな経済対策に努めてきたところでございますが、昭和57年度における経済成長率は、前年度に引続き実質で3.3%と低いものになっております。

国におきましては、行財政改革の基本路線を堅持し、財政再建を引き続き強力に推進することを最も重要かつ緊急な政策課題として厳しい抑制的基調に立ち、予算編成を行い執行してまいりましたが、このような経済動向から、年度中途におきまして、国税等収入が6兆1460億円減少する見込みとなり、その対応策として、給与改定の見送りによる給与改定費の減額、定率繰り入れ等の停止による国債費の減額、また、国税3税の減収に伴う地方交付税交付金の減額等歳出の減額を行い、なお不足する財源に

については、特例公債の追加発行等の措置が講じられたところでございます。

一方、当初収支均衡が見込まれました地方財政におきましても経済情勢の影響等により、地方税等の減収が確実なものとなり、その減収見込み額に対しまして、減収補てん債の発行、また、国税3税の減収に伴う地方交付税交付金の減額につきましては、交付税特別会計の資金運用部資金からの借り入れ等によりまして、所要財源の確保が図られました。

本市におきましては、このような国の財源措置に呼応するとともに事業の緊急性、必要性を厳しく選択し、さらに国等の補助金採択方につきましては、関係機関に強く働きかけ、積極的な財源確保に努めると同時に国と同様の基調に立ち、自主的に行財政の簡素効率化、経費の節減に意を用いてまいりました。予算の執行に当たっては、特に前年度決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会より御指導及び要請をいただきました事項に十分留意いたしまして、明るく豊かな香り高い文化福祉都市実現のため、住みよい環境づくり、福祉社会づくり、教育文化の環境づくり、産業の基盤づくりを主要施策といたしまして財政の健全性を確保しつつ、住民福祉の向上に努めてまいりました。この結果、一般会計におきましては、歳入総額101億60万余円で、対前年度比992万余円の増、歳出総額では96億4301万余円で、対前年度比1億2331万余円の増となり、実質収支におきまして、4億2092万余円の黒字決算となりました。

また、特別会計におきましては、その運営の合理化、適正化を図りながら独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては、年度途中から老人保健法の施行によりまして老人医療費が別会計とされ、お年寄りには国保の医療給付をしなくなったこと及び医療費の伸びが当初見込みより低かったことなどによりまして、実質収支で1億3640万余円の黒字決算となっております。

老人保健会計におきましては、昭和58年2月1日から老人保健法の施行により、新たに特別会計として事業の実施をいたしました。実質的には医療給付が1ヵ月分であったことと同時に当初の見込みより医療費の伸びが低かったこともありまして804万余円の黒字となりました。

水道企業会計におきましては、将来の水需要に対応して事業拡張の計画を立てるため神余地区において水源調査を実施するとともに、既設水道施

設の実態調査を行いました。また、館山、北条、長須賀、八幡等の地区で配水管布設工事を施工し、より安定した給水ができるよう施設の整備に努めました。収益的収支につきましては、他会計補助金等の増により単年度収支6250万余円の利益を生じ、前年度からの累積赤字を解消することができました。

国民宿舎企業会計におきましては、改築3年目を迎え、冷夏等の影響もありましたが、宿泊等利用者数は年々増加の傾向を示しております。しかしながら、低調な経済情勢下でありまして、営業収益の伸び悩みにより、収益的収支につきましては単年度収支1840万余円の純損失となりました。

以上、昭和57年度の決算についてその概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては決算に関する主要な施策の成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、なお、任期満了に伴う館山市教育委員会委員の任命等について市議会の同意を得たく追加議案として上程をお願いする予定でございます。

何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明を終わります。ありがとうございました。

○議長（石井 正君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時28分

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明9月14日から18日まで議案調査のため休会、次会は9月19日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。各議案の質疑通告の締め切りは9月19日正午まででありますので、申し添えます。

●本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第36号乃至議案第50号、認定第1号乃至認定第8号

